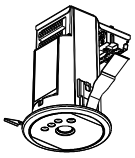


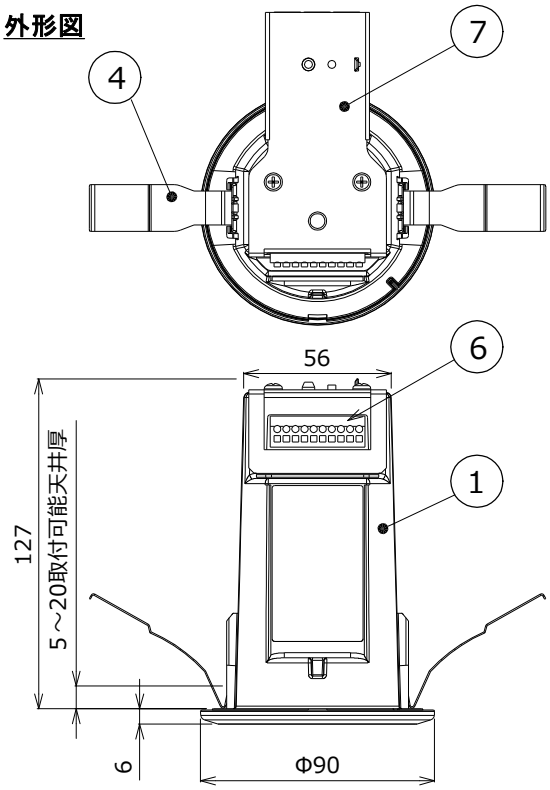
画像センサ

天井埋込穴寸法　$\phi 75\ ^{+3}_{-0}$ mm
取付可能天井厚　5mm～20mm

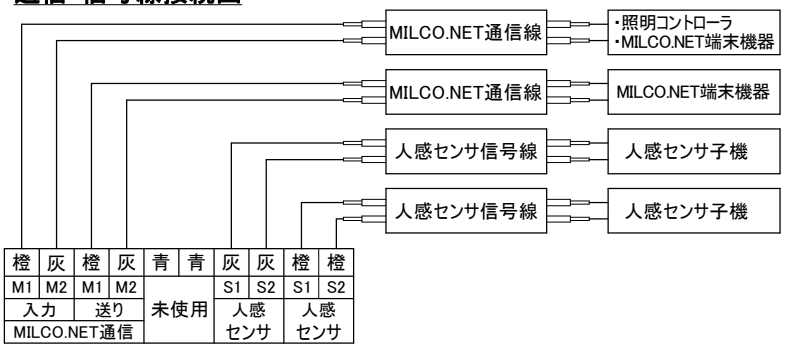
使用方法

●施工方法　EY26162参照
●検知範囲・設置範囲/検知条件及び施工方法　EY26163参照

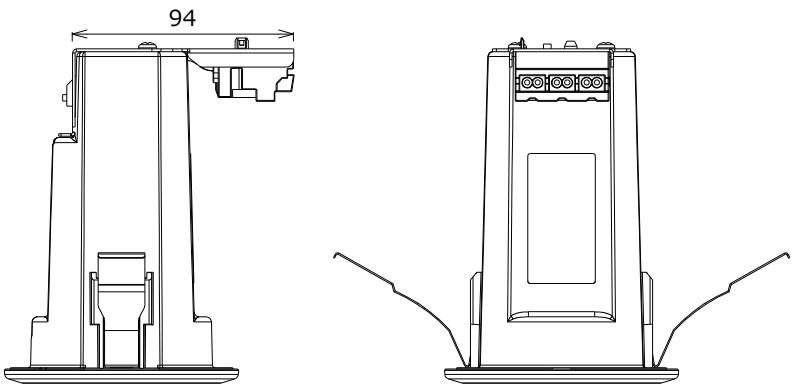
外形図

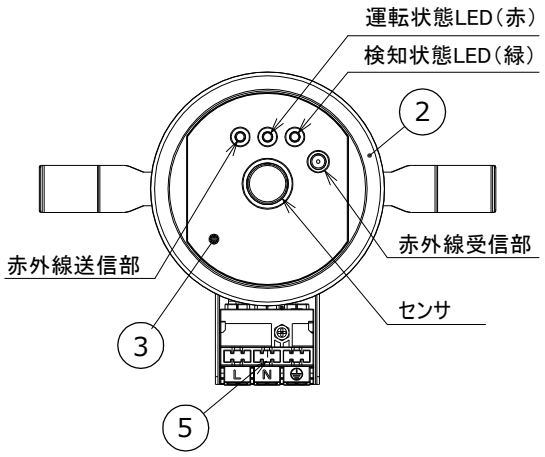


通信・信号線接続図



橙	灰	橙	灰	青	青	灰	灰	橙	橙
M1	M2	M1	M2			S1	S2	S1	S2
入力		送り		未使用		人感		人感	
MILCO.NET通信						センサ		センサ	





仕様

項　目		仕　様
機能		人の在・不在　/　照度値を照明コントローラへ送る。
電源	定格電源電圧	AC100～242V
	定格電源周波数	50/60Hz
	定格電力	定格消費電力 1.0W / 定格皮相電力 1.7VA
通信仕様	通信方式	MILCO.NET通信(2線式ランダム伝送直流パルス方式、無極性)
	定格入力通信電圧	±24V
	定格入力通信電流	2.4mA
	適合電線	EY26162の接続電線表参照
接続台数		照明コントローラ1台あたり64台 (人感センサ256台、照度センサ256台相当)
検知範囲		6.4×6.4/7.2×7.2m(2.5～5.0m、床面より0.7m位置) 【人検知可能最低照度:35 lx】(微動検知は50lx)
使用環境		使用周囲温度:－10～40℃ 使用周囲湿度:～85%RH 屋内(但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所)
人感センサ子機(別売)		MN3904、MN3904A　(最大接続台数　8台)
適合設定器(別売)		データ設定器:MN3060　センサ設定器:MN3061

品番	品　名	材　料	数	備　考
8				
7	端子台取付金具	SGCC	1	t1.0
6	通信・信号線端子台		1	10極
5	電源端子台		1	
4	取付バネ	SUS304	2	t0.5
3	カバーパネル	PET	1	t0.5 塗装色DIC-G-151ホワイト
2	カバー	PC+ABS	1	ホワイト
1	本体	PC+ABS	1	ホワイト

検認　岩坪　照査　中井　設計・改定　柴田

MILCO.NET

画像センサ

形名	MN3908
設計管理記号	C
バージョン	18.01.03
質量	0.4 kg
図番	EY26161-F

2109　CA

単位　mm　　第　3　角　法

三菱電機照明株式会社

施工方法

(1) 本器は必ず、MIILCO.NET システムと組み合わせてご使用ください。
(2) 屋内専用機器となっておりますので必ず屋内でご使用ください。
　屋内であっても、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所に設置してください。
(3) 壁、または傾斜天井などへ取付けないでください。誤動作の原因になります。
(4) 電源は照明制御専用回路としてください。
(5) 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、D種接地工事を行ってください。
(6) 電源が切れてることを確認してから、電源線,通信線,人感センサ信号線等を接続してください。
(7) 適合電線

適合電線	線種	総配線長
電源線	VVF3　φ1.6 , φ2.0mm	ー
MILCO.NET通信線 （※1）	CPEV,FCPEV　φ0.9mm×1P CPEV,FCPEV　φ1.2mm×1P	照明コントローラ（MN3051）、 増幅器（MN3011,MN3013）に記載
人感センサ信号線 （MN3904）	CPEV,FCPEV　φ0.9mm×1P CPEV,FCPEV　φ1.2mm×1P AE-2C×φ0.9mm～φ1.2mm	50m以内

（※1）FCPEV線を使用する場合は、アルミテープの接地工事は不要です。
　　複数のCPEV-S線を使用して接地工事を行う場合は、系統毎に1点接地を実施し、別系統の
　　CPEV-S線のシールドと連結しないでください。
　　別系統のCPEV-S線のシールドと連結すると、信号が相互干渉し、通信できなくなる場合があります。

(8) 使用電線は動力線、高圧線との近接や束線を行わないでください。
　また、使用電線と動力線、高圧線が平行する時の隔離距離は下表に従ってください。

平行する動力線、高圧線条件	隔離距離
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他の高圧線	600mm以上

(9) 通信線・信号線へのメガテストは実施しないでください。
(10) 本器に上記の指定電線以外の電線を使用すると、発熱したり接触不良を起こす原因になります。
(11) より線は使用しないでください。発熱の原因になります。
(12) 誤結線や通信線,信号線を短絡させたりしますと、故障の原因になります。
(13) 内部に電子部品を使用していますので、落としたり衝撃を与えると故障の原因になります。落とした画像センサは使用しないでください。
(14) 本器をセキュリティーなどの目的（防災,防犯,人命に関わる用途）には、ご使用にならないでください。
(15) 使用する目的により、安全性が要求される場合には、保護装置,保護回路などを設け、誤検知及び単一故障で危険な状態になることがないように安全を確保してください。
(16) 本器の運用,設定には、データ設定器（MN3060）及びセンサ設定器（MN3061）が必要です。
(17) 本器はデータ設定器及びセンサ設定器付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、据付け工事,設定を行ってください。
(18) 本器に殺虫剤等の化学薬品を本機にかけないようにしてください。誤動作や故障の原因になります。
(19) 本器は断熱施工不可です。断熱材・防音材を使用する場合には機器にかぶせたり、密着して使用しないでください。

その他詳細は「三菱照明総合カタログ」の「照明器具の正しい使い方」のページを確認してください。

アドレス設定

データ設定器（MN3060）またはセンサ設定器(MN3061)を使用して本器のアドレスを設定しください。

※詳しくは取扱説明書を参照願います。

設定操作

センサ設定器（MN3061）を使用して本器の設定操作を行ってください。

詳しくは取扱説明書を参照願います。

検認
岩坪
照査
中井
設計･改定
柴田

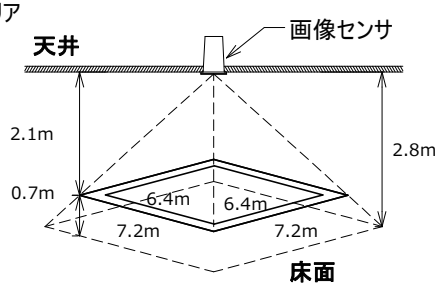
MILCO.NET
画像センサ
施工方法

形名	MN3908
図番	EY26162-D

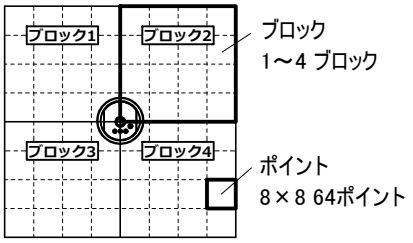
検知範囲/設置範囲

(1) 画像センサの検知範囲
設置天井高さ　2.5～5.0m
検知エリア　6.4m、または7.2mの正方形（床面から0.7m）
検知ブロック　4ブロック 64ポイント
※検知ブロックは4×4ポイントを1ブロックで構成され、各ポイントは任意にチャンネル割当て、マスク設定することが出来ます。
出荷時は1～4ブロックをそれぞれ1～4チャンネルに割当ててあります。
検知可能最低照度　35lx（微動検知は50lx）

■検知エリア



■ブロック、ポイントについて



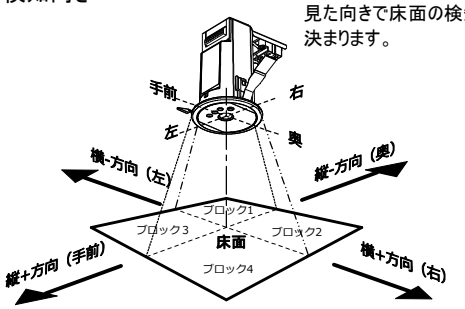
①人検知
人検知は人の動き（変化）を検出しています。
静止しつづける作業が多い場合は、停止判定時間を調整してください。

②照度推定
照度推定範囲　100～1500lx
※床面や什器の材質、色、搬入什器の配置、反射率、本器設置角度等により、測定結果に±50lx程度バラツキが生じます。
目安としてご使用ください。±50 lxは、当社試験環境にて確認した精度です。

③人感センサ子機（MN3904、MN3904A）
人感子機接続台数　8台
※人感センサ子機は検知エリアを広げる目的で8台まで設置できますが、1つの回路として管理されます。

■検知向き

画像センサ機器を下面から見た向きで床面の検知位置が決まります。



(2) 画像センサの接続台数
①本器は、1台の照明コントローラに64台まで接続することができます。
②画像センサ1台で照度・人感センサ4台に相当します。

(3) 設置位置及び接続
①本器は検知エリア（4つのブロック）の中心に配置してください。
②本器の検知アリアが制御範囲より大きい場合や制御しないポイントがある場合はマスク処理を行ってください。
③以下の場合、人感センサ子機を組み合わせてご使用ください。
・消灯時35lx以下になる場合　・パーテーションなどで仕切られ、人検知できないできない場合

(4) LED表示内容

項目	LED状態	モード	項目	LED状態	モード
運転状態LED（赤）	点灯	起動中及びアドレス未設定	検知状態LED（緑）	一時点灯	在/不在検知状態通知時
	消灯	運転中		消灯	検知変化なし時

検知条件及び使用方法

(1) 本器は、人物を判断して検知していません。
画像の変化(動き)を判断し、人検知するもので、人と背景のコントラスト差がない場合は人検知できません。
人以外でも動きのあるものは人検知する場合があります。（風で動くもの,光が変化するもの,動物,扇風機など）
(2) 本器のレンズ部には、外力を与えないでください。誤検知及び故障の原因となります。
(3) 人が完全に静止した場合は、停止判定時間が経過すると物体と判断し、不在状態となります。
(4) 検知エリアの明るさが大きく変化すると、人検知ができなくなります。
(5) ガラス等の光を透過する物は、部屋の中であっても人検知できなくなったり、誤検知することがありますので、人検知マスク設定を行ってください。
(6) 不安定な場所に設置した場合、振動や衝撃により、人検知する場合があります。
(7) 本器は、検出面（床面）に対して水平に設置ください。傾きがあると誤検知の原因となります。
(8) 検知エリアにパーテーションや高い棚等があり物陰になる場合、人検知できないエリアがあります。
(9) TVやディスプレイに映った動きのある映像で、人検知する場合があります。
(10) 照明のちらつきや光の変動が大きいと、人検知する場合があります。
(11) 最大0.5m程度、検知エリアの外側の動きを検知する場合があります。その場合、検知エリア外周部を人検知マスク設定することで、誤検知を防ぐことができます。
(12) 壁面から50cm以上、床面から100cm以上離して本機を天井に設置ください。
近い位置に設置すると誤検知する場合があります。
(13) 窓側に設置する場合は、検知エリアに窓が入らないようにマスク設定してください。
または、検知エリアに直射光が入らないようにマスク設定してください。外光の影響がある場合は、照度推定マスク設定を行ってください。
(14) 照度の推定は、本機が天井に設置された状態で床面及び机上面の明るさを測定しているため、環境の変化、昼光の影響によりばらつきます。
レイアウト変更により床面の環境が変化した場合は、再度基準照度の設定を実施ください。
(15) センサを使用して空調連動等を行う場合は、誤検知による連動動作が無いように対策を講じるか、注意事項に記載されている誤検知要因を無くした上で、ご使用ください。
(16) 施錠連動等でセンサを使用する必要が無い場合は、センサを停止「切」することで、誤検知による不要動作を無くすことができます。

検認
岩坪
照査
中井
設計･改定
柴田

MILCO.NET
画像センサ
検知範囲・設置範囲/検知条件及び使用方法

形名	MN3908
図番	EY26163-F